

学校だより 潮鳴り No.9

令和4年12月22日

暦の上では「冬至」を迎え、一年の中で最も日が短く、寒さの厳しい季節となりました。保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

*学校の詳しい様子については、ホームページをご覧ください。



1 12月6日(火) 全校朝会にて

皆さん、おはようございます。

先週の2日には「黎明祭」を実施することができました。大変よかったと思っています。コロナの影響で2年間できなかったことがやっとできたことは、大変重要なことだと思っています。なぜなら、今の3年生は一度も経験していなかったからです。3年生にとっては、とてもやりがいがあり、思い出に残る文化祭になったと思います。

さて、大洋中学校では、文化祭のことを「黎明祭」と呼んでいますが、なぜだか理由がわかりますか。実は、今から42年前の中学3年生が考えた名前なのです。「黎明」とは、「夜明けまたは明け方」という意味です。「何か大きな出来事の始まり」を意味します。その名前を今日まで42年間使っているわけです。これからも大切に使っていきたい名前です。今回の黎明祭のように、名前がついた当時も生徒会を中心として、今回のような「修学旅行報告」、「職場体験報告」、「SDGs発表」、「合唱祭」、「プレゼンテーション発表」、「吹奏楽部発表」等、文化的な内容の濃い、充実した文化祭を実施していました。来年以降も、更に「生徒・職員・保護者が一緒に活動できる場となっていけるといいな。」と考えています。

話は変わって、皆さんに一つ報告をします。先月、3年生と一緒に修学旅行へ行ってきた後、全校朝会で俳句の話をしました。茨城新聞社に10句ほど投句した中の1句が新聞に掲載されたので紹介します。

「翺雲 天保山の観覧車」この句は大阪です。3年生は覚えているでしょうか。ユニバーサルスタジオジャパンのある場所付近を天保山といいます。バスに乗って移動しているとき、バスガイドさんが紹介していましたが、すぐ近くに遊園地があり、大きな観覧車が見えました。空には翺雲、その下で大きな観覧車が回っている様子です。

2 12月12日(月) 職員会議にて

「認め合うこと」・「話し合い活動」と「自己防衛本能」

私は、心理学について、自主的に学んだことがあります。その中で「人間の言葉、感情、行動などの基本は『自己防衛本能』からくる。」という事を知りました。人には、代々受け継がれている遺伝子があります。その中には、自分を守るための本能的な部分もあります。そして、人は周りとのコミュニケーションを取るために「言葉」を身に付けました。「言葉」によって自分の考えや思いを伝えたり、周りの人の考えや思いを受け止めることができるようになりました。この行為の発展したものが「話し合い活動」であり、「認め合うこと」へと繋がっていきます。

さて、「自己防衛本能」ですが、これは老若男女を問わず、誰でも持っています。唯、人によって個人差があります。人は、家族や友人、様々に取り巻く人とコミュニケーションを取りますが、基本的に一人で生きています。常に誰かと一緒ということはありません。あるとすれば、赤ん坊の時と年老いて動けなくなったときでしょう。そして、その過程で「人間関係」に悩むことが多くあります。心理学で有名なアルフレッド・アドラー氏によれば、「人の悩みのほとんどは『人間関係』である。」と言い切っています。更に、人は「自己防衛本能」を基本として、自分自身と周囲を比較します。その結果、周囲の人を「自分の味方または逆、自分よりも優れているまたはその逆、自分よりもできない、・・・。」という判断をしていきます。これらの過程により、「人間関係」が「悩みの原因」となっていくわけです。

では、どのようにしたらこの悩みが解決するのか？アルフレッド・アドラー氏によれば「社会や人に対して貢献すること」だそうです。そして、その貢献は「自己満足」で良いそうです。「誰にも褒められたり認められたりしなくてもよい、自分が納得できればよい。」と記されています。